竹の子会の基本目標

1. 人間形成への修練
1. 地域社会への奉仕
1. 会員相互の親睦

竹の子
http://www.takenokokai.com

竹の子会会報
No.579
竹の子会総務委員会
平成28年４月14日

例　会（会員親睦会）

日時：平成28年2月20日（土）　場所：大垣市総合体育館

親睦委員会
副委員長
山田　崇伸

第51期入会の山田崇伸です。今期は親睦委員会の副委員長を務めさせて頂いております。

去る平成28年２月20日（土）に２月度例会として、３C合同例会が開催されました。「大垣竹の子会」、「公益社団法人　大垣青年会議所」、「公益社団法人　大垣青年クラブ」という大垣を代表する３つの青年団体が同じ例会を通じて、各会員同士の交流及び連携を促進し、団体同士の繋がりをより強固にする事を目的としたものです。今回の合同例会はスポーツ例会ということで、大垣市総合体育館の第一体育館でソフトバレー大会を行いました。交流を目的としていましたので、３団体が混在したチームを作り、その総当たり戦で優勝を決めるルールで行われました。

今回の例会は単なる交流会ではなく、３Cそれぞれの団体で予算を出し合い、各団体が協議審議を通した例会です。事前に各担当委員会が集まって、何度も話し合いを重ねた上で、役割分担や当日の流れ、ルール作り等が進められました。（特に渡邊副会長と川上親睦委員長が中心となっておりました。渡邊副会長、川上委員長、本当にお疲れ様でした。）私は親睦委員会ということで、当日はライン審判が担当でした。

さて、スポーツ例会の様子ですが、最初に各団体の会長挨拶ということで、

「公益社団法人　青年クラブ　第60期会長　川崎 紘嗣」 会長の挨拶。

「大垣竹の子会　第60期会長　永井 清睦」 会長の挨拶。

「公益社団法人　大垣青年会議所　第65代理事長 奥田 知一」 理事長の挨拶。（挨拶順）

と３Cのトップの挨拶で始まりました。大垣の青年団体の３人の代表者がそろって挨拶するのを目の当たりにして、その場にいた全員の身が引き締まるような、素晴らしいオープニングになりました。各団体共通しているのは会員数の減少で、このような交流をもっと増やして、青年活動をもっと活発にしていきたいという熱い気持ちが溢れていました。今回の例会の出席者は３C合わせて95名でした。昔の３Cを知っておられる先輩方からすると、結構減っているなという印象ではないでしょうか？

前置きが長くなりましたが、実際の例会の風景です。やはり、青年団体のメンバーです。勝ち負けにこだわり真剣勝負で、ミスったら大笑い。ソフトバレーということで声の掛け合いをしっかりして、初対面の会員同士もコミュニケーションがすごく取れていました。真剣な声と笑い声でいっぱいの試合の連続で、審判をしている私も熱くなりました。優勝チームはルール上出ましたが、どのチームも全力で頑張っていて、勝ち負けについては最後は関係なく、盛り上がって終わりました。また、エキシビジョンで３C対抗の試合も行われました。（これは非常に白熱しました。）

例会が終わった後は、３C合同で懇親会も開かれました。ソフトバレーの混成チームごとに同じテーブルを囲み、お酒を飲み交わしながら、より深い交流をすることができました。どの会員も３Cの交流を楽しむことができたと思いました。今回、このような例会を実施することができたのは、永井会長を中心にした第60期のメンバーの熱い思いと、同じ気持ちで事業を共に出来た大垣の３C全ての会員の協力のおかげだと思いました。皆さん本当にお疲れ様でした。

第45期大垣つどい会長あいさつ

第45期
大垣つどい会長
山下　洋平

大垣竹の子会の皆様、いつもお世話になっております。

この４月より第45期大垣市青年のつどい協議会の会長を務めさせていただきます、53期入会の山下洋平です。

私は竹の子会に入会して８年間活動してきました。竹の子会では副会長も経験させて頂き、色々勉強させて頂きました。私につどいの会長が務まるのか考えると不安で押しつぶされそうでしたが、いつの間にか現役のほとんどが後輩になり、もうやるしかない状況なのだなと思い受けさせて頂きました。昨年12月につどいの理事会にて承認を受けてから、とても緊張した新年互礼会など経てあっという間に４月となりました。これから始まる45期のつどいを沼波事務局長や日比野副会長そして役員と共に盛り上げていこうと思っております。

昭和47年に設立された大垣市青年のつどい協議会は市内各種青年団体の連絡提携を図り、青年活動の健全な発展に寄与することを目的に45年目を迎え、現在は大垣の10団体が大垣を盛り上げるために協力し合い活動をしております。

そして大垣つどいは大垣市で唯一加盟団体の隔たりなく人と人との交流ができる会です。地域社会への貢献のために、三大事業を中心として様々な意見や協力を頂いきながら事業を達成していくことで、一年間を通して人間関係を作り上げ成長できると思っております。

私のスローガンは「郷土大垣のために～人は人のために～」とさせて頂きました。「人のために」最近ではこういったことを日々のゆとりのなさから行動できる人は少ないかもしれません。ですがこんな時代だからこそ繋がりは大事だと思います。大変なこと辛いことは絶対あります、ですが自分の喜びや皆様の喜びを共有できれば本当に嬉しく思います。そういった思いから付けさせて頂きました。つどいは大垣を盛り上げるために、人は人のためにつどいを通して団体の隔たりなく喜びを共有できるように盛り上がっていきたいと思います。

最後に私はつどいで副会長など２年間経験させていただきました。十万石ふるさとまつりの実行委員長、事務局長を経験してきて分かったことは、つどいで役を頂いて活動していても最終的に頼れる仲間は大垣竹の子会の皆様だということです。大垣竹の子会のバックアップなしでは45期のつどいは成り立たないと思います。一年間皆様のご理解とご協力お願いいたします。

大垣市青年のつどい協議会研修旅行

日時：平成28年2月13日（土）、14日（日）　場所：滋賀、京都、大阪

涉外委員会
副委員長
名和　良能

去る平成28年２月13日（土）、14日（日）と大垣市青年のつどい協議会の国内研修旅行に参加させていただきました。

国内研修旅行は、大垣市青年のつどい協議会の会員が、日頃のボランティア活動を違った見地から見つめ直す機会を設け、今後の青年活動の発展、充実を図るとともに、他団体の会員との親睦を図るために、例年開催されています。

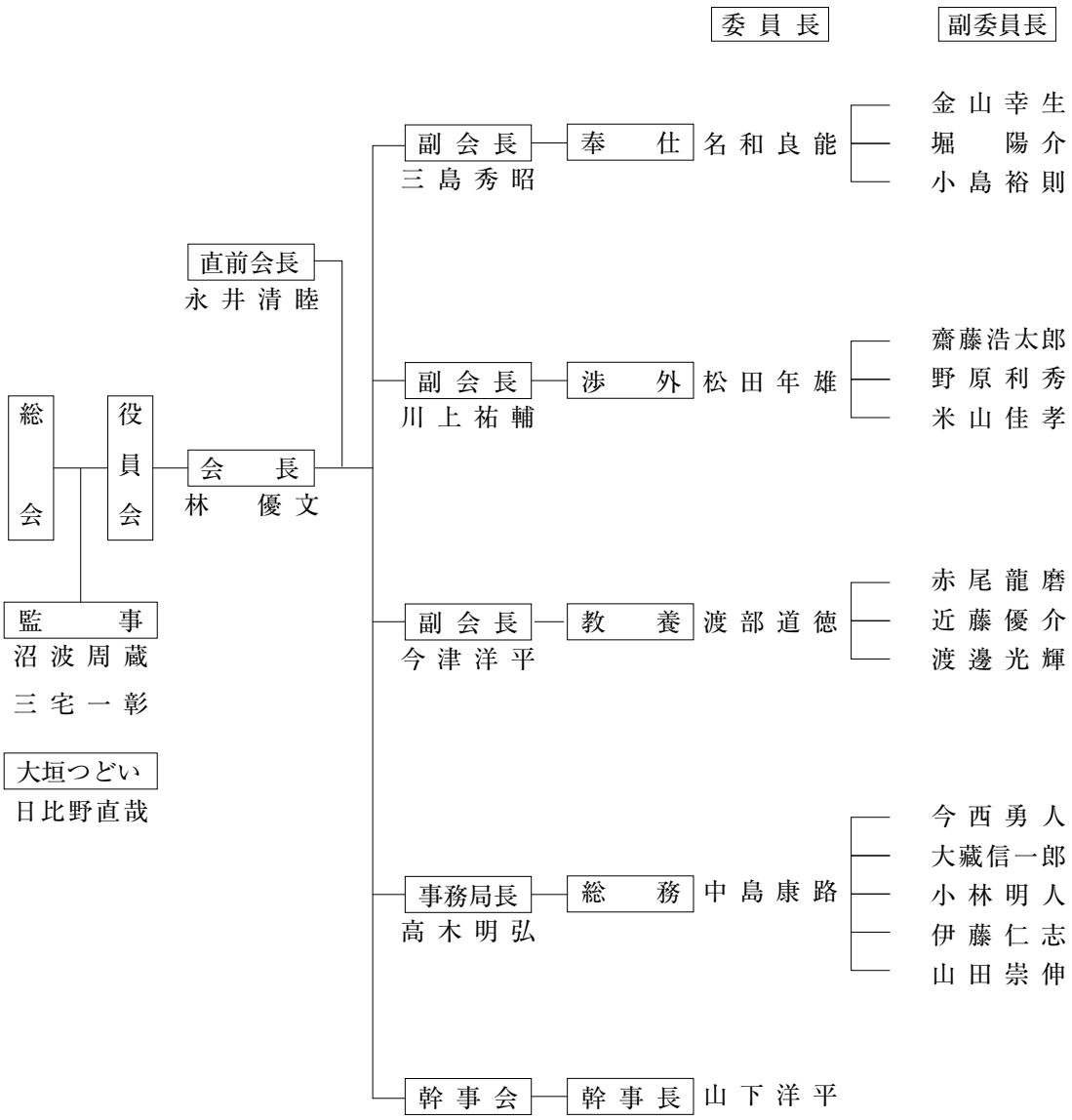
初日の13日には、滋賀県長浜市において、特定非営利活動法人まちづくり役場さんから、長浜のまちづくりの考え方の基本から今後の方向性など、大変貴重なお話をうかがいました。まちづくり役場さんをはじめ、長浜市は黒壁に代表されるまちづくりの先進地として、年間約400件余りの視察を受けているそうです。講師の北川先生には、私たちの仕事から今後の青年活動や、大垣市のまちづくりまで活かせるような講演をいただきました。

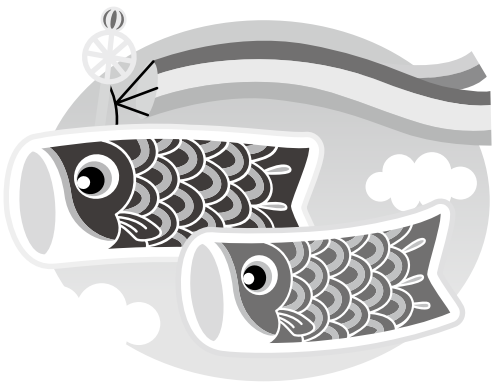
その後、京都の伏見稲荷神社での研修を行い、夜は懇親会が行われました。今期最後のつどい協議会の事業でもあり、他団体の会員とともに親睦を深めながら、１年間の労を労う良い場となりました。

２日目の14日には、大阪に移動し、ユニバーサルスタジオジャパンにおいて研修を行いました。バスの中での事前研修を経て、実際のUSJ内でのスタッフの接客姿勢など非常に感心するところがあり、来場者を楽しませるおもてなしの心など今後私たちが青年活動をするときにも見習わなければいけないことが改めて気づかされました。

１泊２日の短い国内研修旅行でしたが、普段はなかなか聞けないお話を聞き、体験し、またつどい会員との親睦を深めることができ、非常に有意義な２日間となりました。また今期涉外委員会としてつどい協議会に参加することになり、十万石ふるさとまつりでは部会長を務めさせていただき、自分自身も成長することができた１年になりました。今回の国内研修旅行が、今期のつどい協議会の事業も最後ということで、この場をお借りして、水野会長をはじめ、他団体の皆さん、つどい協議会の事業にご協力いただいた竹の子会の会員の皆さんにお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

第61期 大垣竹の子会 役員構成





5月の予定

例会（60周年記念式典・懇親会）

日　時：平成28年５月21日（土）
場　所：大垣フォーラムホテル